



2025 年 1 月 31 日

各位

会 社 名 株式会社ダイセキ環境ソリューション
代 表 者 名 代表取締役社長 山本 浩也
(コード番号 1712 東証スタンダード市場・名証プレミア市場)
問 合 せ 先 執行役員企画管理本部長 丹羽 利行
(TEL 052-819-5310)

静岡市プラスチック資源再商品化連携事業者（連携協定締結先） 最優秀提案者選定のお知らせ

このたび当社は、静岡市が募集する「プラスチック資源再商品化連携事業者（連携協定締結先）」に応募し、静岡市にとって最も優れていると考えられる提案を行った「最優秀提案者」に選定されましたのでお知らせいたします。

1. 提案内容

選定者	静岡市
事業内容	「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」及び「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づき、静岡市が一般家庭から収集したプラスチック資源(一般廃棄物)を中間処理施設、再資源化施設にて再商品化を実施(図 1 参照)
再商品化の手法	・中間処理施設で不適合物等を除いた後に再資源化施設（マテリアルリサイクル）で再生ペレット等の製造を実施 ・事業系の廃プラスチックも処理する事により、総合的に静岡市の目指す CO ₂ 削減に貢献 (図 2 参照)
プラスチック資源 年間収集見込み量	市内プラスチック製容器包装 5,275 t/年 市内プラスチック製品 525 t/年 合計 5,800 t/年 (財)日本容器包装リサイクル協会分や事業系の廃プラスチックを含め、 年間約 2 万 t + α (産廃プラ)の処理を想定
事業実施場所	所在地：静岡市駿河区丸子 面積：30,331m ² (2024 年 4 月土地取得済み) 中間処理施設・再資源化施設(マテリアルリサイクル)・環境学習等を目的とした教育研修室を同一敷地内に建設予定(図 3 参照)
事業開始年度	令和 10(2028)年度中の開始を基本とし、遅くとも令和 12(2030)年度中

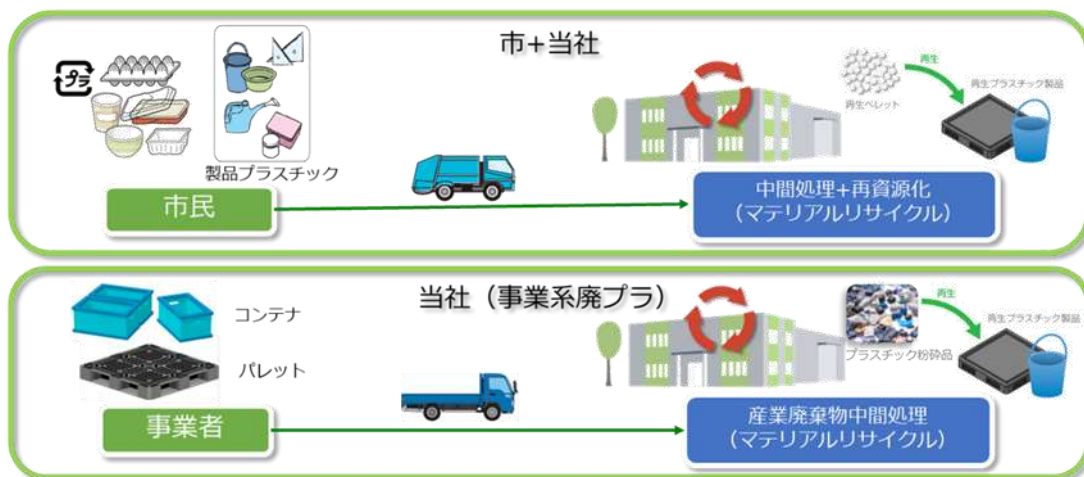


図1 当社の事業内容



図2 静岡市が想定される再商品化の手法(募集仕様書 p2 引用)

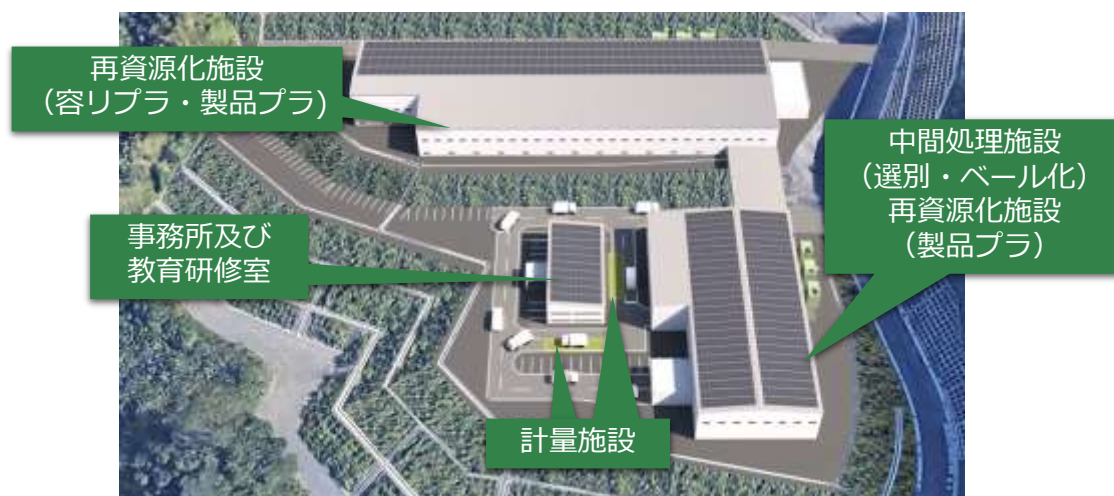


図3 事業計画地イメージ図

2. 今後の予定について

静岡市と「プラスチックに係る資源循環の促進に関する協定」を締結し、プラスチック資源の再商品化の実現に向け、連携して取組を推進いたします。

2022 年 4 月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、プラスチック再資源化の社会的ニーズは拡大しております。当社は 2023 年 4 月に株式会社杉本商事の株式取得による連結子会社化を行い、これまで当社グループになかった「廃プラスチックの固形燃料 (RPF) 製造事業」という新たなソリューションを取り入れました。本事業も含め、プラスチック再資源化事業を当社事業の柱に成長させ、脱炭素や CE(サーキュラーエコノミー)の推進に貢献して参ります。

本件による当社業績に与える影響につきましては、今後公表すべき事項が生じた場合は速やかに開示いたします。

静岡市入札結果は[こちら](#)

以上